



約50カ所のホテルに次世代型高速無線LANを導入し 快適なWi-Fi環境を実現

ビジネスや観光で宿泊ホテルを選択する際、快適な施設やサービスはもちろん、インターネット接続環境も重要なポイントになる。国内に約50店舗を展開するコンフォートホテルでは宿泊客向けのWi-Fi環境を刷新するため、フォーティネットのワイヤレスソリューションを導入した。合計で約2,000台の無線アクセスポイント（AP）を設置する国内最大級のワイヤレスネットワークを構築。APの設置が容易で、近隣からの電波の影響を受けにくくするシングルチャンネルデプロイメントなどの機能に加え、豊富な導入実績ときめ細かなサポート体制が評価された。

導入・構築のポイント

- (1) シングルチャンネルデプロイメントで電波干渉の影響を解消
- (2) 無線APの集中管理により安定したWi-Fi環境を実現
- (3) ホテルのレイアウトや利用状況に対応しつつ、スムーズなシステム移行

株式会社

チョイスホテルズジャパン

本社 東京都中央区日本橋馬喰町
1-6-6 吉野第二ビル7階

設立 2000年9月

資本金 2000万円

事業内容 ホテルフランチャイズの加盟店
の募集・指導・管理・運営

コンフォートホテルは、世界第2位のホテル軒数を誇る米チョイスホテルズインターナショナル（CHI）のホテルフランチャイズチェーンブランドの一つ。チョイスホテルズジャパンがCHIとマスターフランチャイズ契約を結び、北海道から沖縄まで約50店舗のコンフォートホテルを運営する。
<https://www.choice-hotels.jp/>



株式会社チョイスホテルズジャパン
フランチャイズサービス部
プロダクトマネジメント課
マネージャー
堀江 宏氏

快適な客室環境に欠かせない 安定したインターネット環境

コンフォートホテルでは「翌朝 あなたが輝くホテルへ」をブランドコンセプトに、ビジネス客や観光客に快適な滞在を提案。寝具メーカーと共同開発したオリジナル枕を用意し、快適な睡眠を提供していることもその一つだ。また、CHIが推進する全館禁煙の取り組みを受けて、「国内のコンフォートホテルでも禁煙化を進めるなど、当ホテルを選んでくださるお客様が増えることを期待しています」と、コンフォートホテルの運営に携わるチョイスホテルズジャパンの堀江宏氏は話す。

ビジネス客や訪日外国人観光客などにとって快適な客室の環境と共に、快適に通信できるインターネット接続環境も宿泊先を選ぶポイントになる。コンフォートホテルでは10年以上前から客室のWi-Fi環境を整備してきた。公衆無線LAN向け機能に対応した家庭用無線APを使っていたが、様々な問題が発生していたという。その一つが無線LAN環境の変化である。以前はWi-Fiを導入する企業や家庭はそう多くはなかったが、近年は無線LAN機器の性能向上などを背景にホテル周辺でもWi-Fiを導入する建物が増えてきた。

その結果、近隣の無線APから発生する無線電波（外来波）の影響でホテルのWi-Fiが電波干渉を起こし、通信が遮断されることもあったという。

また、無線APが高負荷に耐えられず機能停止することが多く、「お客様からはWi-Fiが使えない、通信が途切れたので見てほしい」といった問い合わせがフロントに寄

せられ、スタッフはその対応に追われることもありましたが」と堀江氏は振り返る。ホテルには情報システム担当者がいないため、フロントのスタッフが問題の無線APが設置されたフロアまで足を運んで機器をリセットするなど対処していた。

コンフォートホテルでは各フロアの廊下に複数台の無線APを設置し、客室でのインターネット接続をカバーしてきた。従来の無線APは電波干渉の影響を避けるため1フロアに設置できるAPの台数は2~4台が限度だった。ホテル建物のレイアウトによっては無線電波が届きにくく、インターネット接続が難しい部屋ができてしまうこともあったという。

インターネット接続が不安定、というサービス品質低下の懸念に加え、「全国各地のホテルで同様の問題を抱えており、フロント業務にも影響が出ていたため、Wi-Fi環境を刷新することになったのです」（堀江氏）。

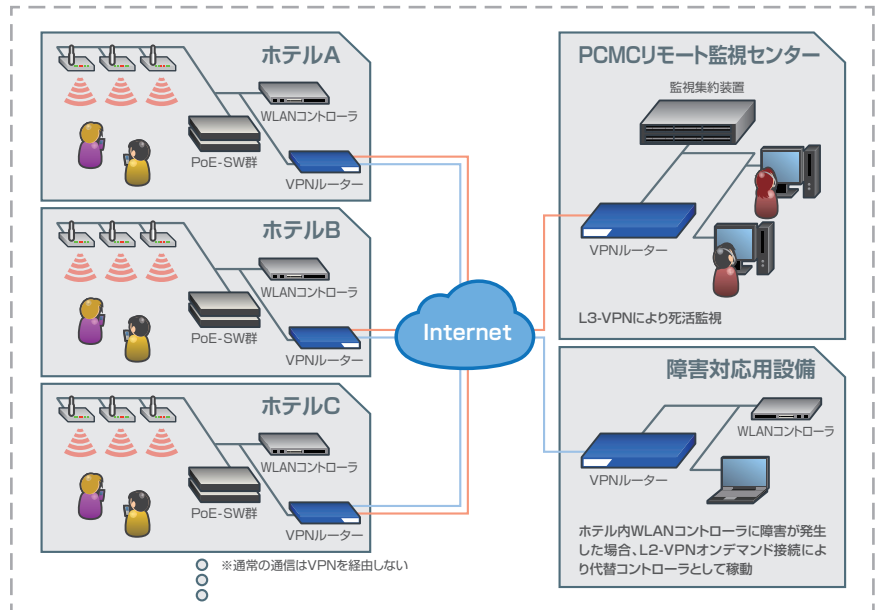
容易な設定や電波干渉の影響を受けにくいシングルチャンネル

Wi-Fi環境の刷新にあたり、いくつかの無線LAN製品を比較・検討していた。主な要件は、複数チャンネルの利用による電波干渉を避けることや、外来波の影響を受けにくくすることにより、安定したWi-Fi環境を宿泊客に提供することである。そこで、一つのチャンネルで電波設計が可能なシングルチャンネル方式を採用する無線APの導入を検討した結果、フォーティネットのワイヤレスソリューションを採用。「シングルチャンネルデプロイメントなどの機能が当ホテルの要件に合致していることに加え、豊富な導入実績ときめ細かなサポート体制を評価しました」

と堀江氏は採用理由を話す。そして、テスト導入を経て、2015年から全国のコンフォートホテルに順次導入を開始した。コンフォートホテルが新たに採用したワイヤレスソリューションは、フォーティネットの無線コントローラ「MCシリーズ」と無線AP「APシリーズ」で構成され、容易な導入と安定した無線通信が特徴だ。コンフォートホテルでは客室数などホテルの規模に応じ、無線コントローラ「MC3200」（最大AP収容数は200）または「MC1550」（同50）を導入すると共に、無線AP「AP-1010i/1010e」を設置。無線APの台数はコンフォートホテル全体で約2,000台に及び、国内では屈指の規模になる。

既存のWi-Fi環境に問題を抱えるホテルから順次、入れ替えを開始し、2016年12月現在でほぼ全ホテルで設置を完了している。その導入効果について、堀江氏は「シングルチャンネルデプロイメントなどにより、柔軟に無線APを設置できることから安定したWi-Fi環境が実現し、インターネット接続に関してお客様からのクレームはほとんどなくなりました」と評価する。シングルチャンネルデプロイメントは、隣接するAP、クライアントを把握して通信を制御することができる。従来、電波干渉を避けるため各フロアに設置する無線APの台数を抑えたことから、電波の届きにくい客室もあったが、シングルチャンネルデプロイメントにより、「各フロアに3〜7台の無線APを設置することで全客室をカバーできるようになりました」（堀江氏）。また、無線APの電波を最大出力にすることで外来波の影響を受けにくくするなど、ホテル周囲の環境に応じたWi-Fi構築を可能にしている。

そして、従来と同様に複数チャンネルの設定も可能なため、ホテルごとの状況に応じた使い方ができる。例えば、ストリー



ミングなどの広帯域アプリケーションを利用する観光客の多いホテルでは、シングルチャンネルのほか、フロアごとにチャンネルを分けて設定するなど柔軟性の高いWi-Fi構築が可能だ。

無線APの集中管理とスムーズなシステム移行

シングルチャンネルデプロイメントにより、無線APの設置場所や電波設定を決めるためのサイトサーベイの手間もかからず、容易に設置できる利点もある。「無線APの設置と調整作業に1箇所のホテルあたり2〜3日程度と非常に短期間に工事できるので、ホテルを通常営業しながら、スムーズにシステム移行できました」（堀江氏）。

さらに、最適な無線APを選んで接続するパーチャルセル機能を組み合わせ、客室からの電波の「死角」をなくすほか、クライアント端末ごとに通信時間を均等に割り当てるエアタイムフェアネス機能により、安定したWi-Fi環境を実現している。

各ホテルでは無線コントローラ「MCシリーズ」の導入により、無線APの集中管理を可能にした。外部のITベンダーにWi-Fiの運用管理を任せることにより、「リモートから無線APの稼働状況を確認できるほか、必要に応じてAPの設定変更なども可能になります」と堀江氏は期待する。また、万が一、Wi-Fi環境が不安定になった場合でも、フロントスタッフが対応に手を取られることもなくなった。

そして、ホテル内のWi-Fi環境が刷新されたことにより、Wi-Fiの業務利用も視野に入れる。例えば、清掃スタッフがタブレット端末を利用して客室の状況を確認するなど、業務の効率化に役立つという。

Wi-Fi環境の有無を確認した上で、宿泊ホテルを決めるビジネス客や観光客も少なくない。フォーティネットのワイヤレスソリューションにより、快適なWi-Fi環境を整備し、競争力を強化するコンフォートホテルの取り組みが注目される。

FORTINET

フォーティネットジャパン株式会社

〒106-0032
東京都港区六本木 7-7-7
Tri-Seven Roppongi 9 階
www.fortinet.co.jp/contact

お問い合わせ